「EU があなたの学校にやってくる」
～ドイツ総領事による講演会・座談会～

10 月 31 日、ドイツ大使館から大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事メラニー・ザクシンガー氏にお越しいただきました。今回のプログラムは、高校生が欧州連合（EU）とその加盟国の大使から直接話をうかがい、EU をより身近に知ることを目的としています。講演会では EU の歴史や仕組みを説明していただき、例えば、EU 旗の 12 個の星については「12 という数字が伝統的に完璧・完全・統合を意味する」とういことをクイズ形式で紹介して下さいました。世界には人口問題やエネルギー問題など解決しなければならない様々な課題があり、日本と EU は協力して取り組んでいかなければならないと説明を受けました。講演会の後は座談会が開催され、希望する日高高校生と附属中学生が参加し、EU に関することだけでなくドイツの文化や風習、海外留学などを話題に大いに盛り上がり、和気藹々とした座談会となりました。

【今回の講義を受けて学んだことや発見したこと　～振り返りシートより～】

EU というものの存在は社会の授業などで学び知っていたが、詳しくは知らなかったのでとてもよい機会になった。EU の果たす大きな世界的役割など様々なことが学べた。日本と EU の関係は深いものではないと思っていたけれど、貿易などの面でとても深い関係を築いていると知り驚いた。多様なヨーロッパの国々を団結させることを目標にしているのは素晴らしいと感じ、ヨーロッパ以外の地域でも、EU のような組織を作っていくべきだと思った。ドイツ総領事のメラニーさんから実際の話を聞くことにより、EU に興味を持つことができた。EU の大きな力と大切さを感じることができ、協力姿勢を持つことが日本にとって大事だと思った。　　１年４組　前井 寿理

今回の講演を通じて EU について詳しく知ることができました。例えば、EU の国旗の由来、EU の長い歴史、ユーロ、EU のグローバル戦略などを知りました。他にも EU は広島サミットで世界のパートナーと密接に連携して、国連のような取り組みをしていることも初めて知りました。EU は色々な国と協力することを大切にしていて国内だけでなく、世界の平和のために防衛、経済、安全保障、貿易など、様々なことに取り組んでいることに感心しました。

EU で使われているユーロのデザインは工夫がされていて、フランスやデンマークなどヨーロッパの国々のデザインが施されていることも知って、EU が協力しあっている姿が感じられました。EU はウクライナを支援している日本に対し感謝してくれていて、仲間思いだと感じました。　　１年１組　福本 美咲